個人投資家向け会社説明会資料

日本甜菜製糖株式会社

2026年9月19日

東証プライム市場　証券コード：2108

目次

1. 会社概要 3ページ～

2. 第２次中期経営計画 19ページ～

3. 業績、株主還元など 29ページ～

4. 参考資料 36ページ～

5. 本日のまとめ 45ページ～

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

1 会社概要

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

砂糖は何からつくられているでしょうか？



Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

砂糖は何からつくられているでしょうか？

サトウキビが思い浮かぶ方も
多いかもしれませんが、
『**てん菜（ビート）**』という
植物からも砂糖がつくられて
います。



てん菜（ビート）



サトウキビ

日本甜菜製糖は、
てん菜糖（ビート糖）の製造販売を基盤とする
会社です！

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

てん菜（甜菜）とは？



※根の長さ　20cm弱

英語名「ビート（beet、sugar beet）」

ヒユ科の植物で、
ホウレンソウ等の仲間ですが、
その見た目から砂糖大根などとも呼ばれます。

てん菜１個（約１kg）に、約160～170gの糖分が含まれており、
コップ一杯程度のお砂糖を採ることができます。



サトウキビの糖分は１kgあたり約110g前後。
サトウキビよりも多くの糖分を含んでいます。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

畑からお客様へ

北海道で製造した砂糖を、全国のお客様へお届けしています！



①北海道の畑で、農家の方々が
大切に育てたてん菜を受入



③北海道より、JRコンテナ、海上
コンテナ、トラックで日本全国
へ運搬

①契約栽培

②製造

③運搬

④納品



②北海道にある三製糖所
（芽室町・美幌町・士別市）で、
てん菜から砂糖を製造





④大手菓子、飲料、パン、乳製品
メーカー等へ納品

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

砂糖の出荷先

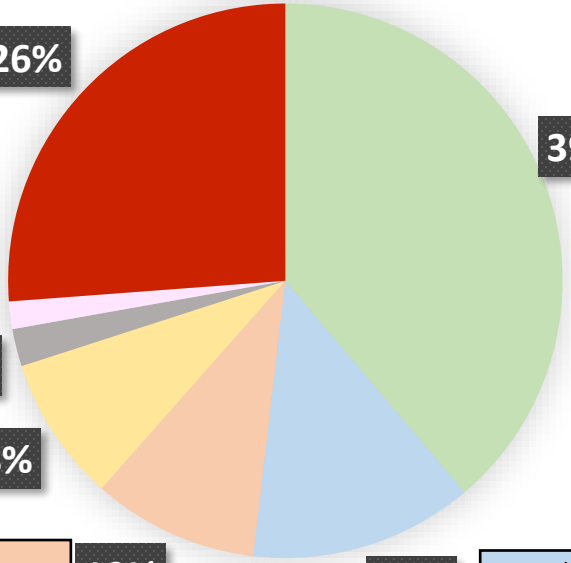
当社の砂糖販売の多くを占める業務用砂糖は、大手菓子、飲料メーカー等に販売、ご好評を頂いており、北海道で生産された国産かつ高品質な砂糖は姿を変えて、皆さまの食生活に貢献しております。















２０２５年４月～２０２６年３月 出荷実績

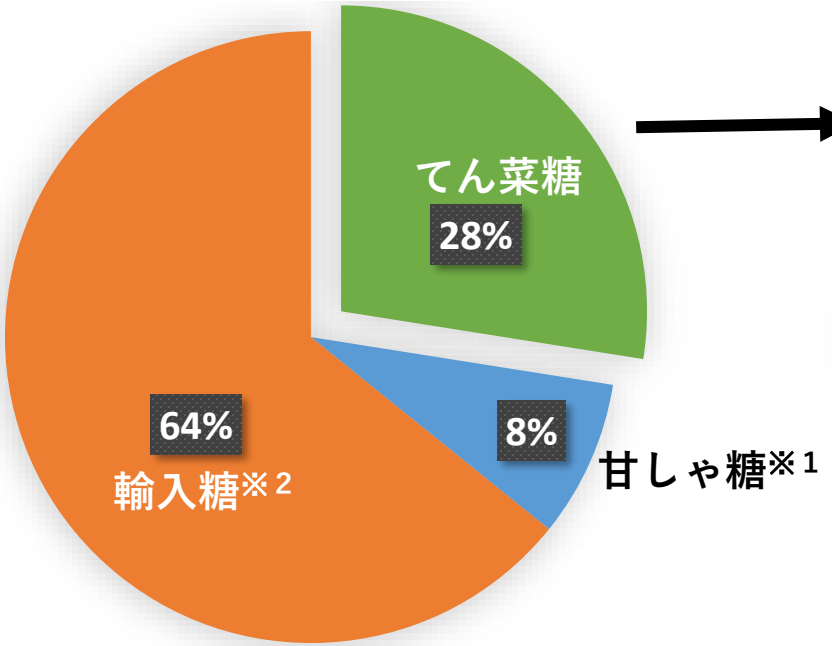
© 日本甜菜製糖株式会社 2026

日本の砂糖生産量について

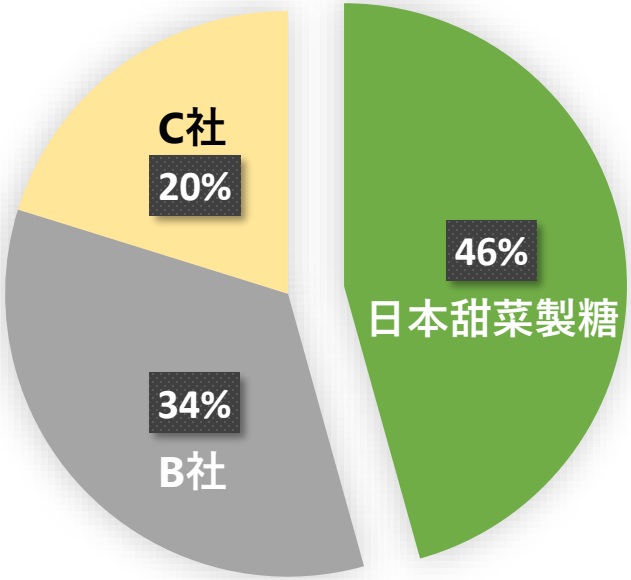
国内で生産される砂糖のうち、10%強を日本甜菜製糖が生産しています。

国産糖の
トップメーカー

国内原料別砂糖生産量
（令和７年度）



てん菜糖業者別砂糖生産量
（令和７年度）



※１　甘しゃ糖　鹿児島、沖縄の国産サトウキビから生産された砂糖
※２　輸入糖　　主にオーストラリア、タイより輸入された砂糖の原料となる粗糖から生産された砂糖

引用；令和７砂糖年度における砂糖及び異性化糖の需給見通し（第４回）　令和８年６月　農林水産省
令和７年（2025年）産てん菜糖の生産実績　北海道農政部生産振興局農産振興課調べ

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

北海道の輪作体系

輪作とは

○ 複数の異なる作物を順番に栽培していく方法

同じ畑で同じ作物をつくり続けると…

→ 畑の養分バランスが崩れ収量が低下

→ 特定の菌群が増え、病気発生リスクが増加（品質・収量の低下につながる）

→ 除草剤の効果が限定され、特定の雑草が残存（管理作業の増加と減収懸念）

麦・豆・いもの生産にも貢献

『北海道の収穫量』

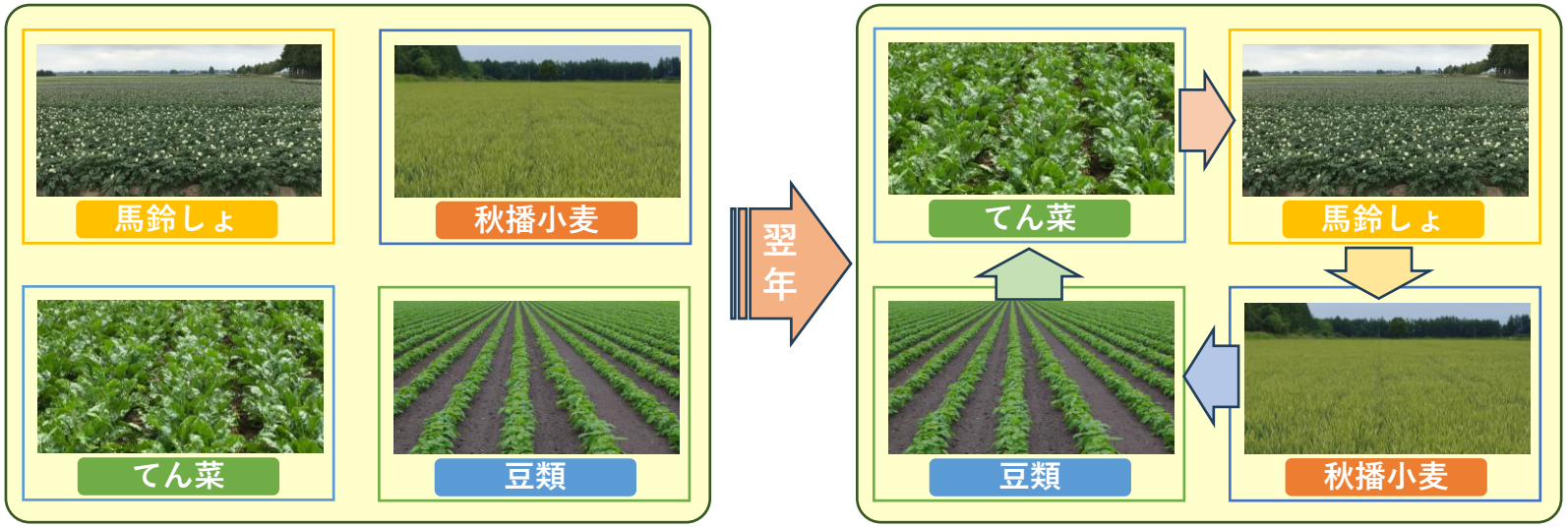
小麦‥　全国の65％（全国１位）

小豆‥　全国の97％（全国１位）

馬鈴しょ‥全国の81％（全国１位）

てん菜‥　全国の100％（北海道100％）

※農林水産省「令和８年版 北海道の農林水産業の概要」より

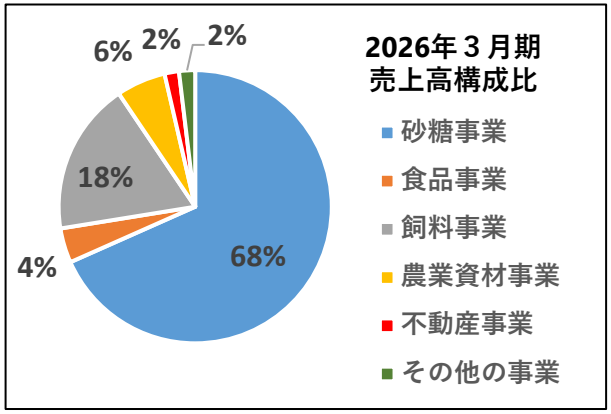


てん菜は、寒冷地作物として北海道農業に欠かせない作物であり、
北海道の大規模で安定的な食料供給の一翼を担っています。

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

事業紹介①

てん菜を中心に事業が派生





食品事業



砂糖製造・バイオ技術を活用

砂糖事業



北海道内の三製糖所で「てん菜」から砂糖を製造、全国で販売

農業資材事業



てん菜栽培技術を活用

飼料事業



てん菜の繊維質（ビートパルプ）は、牛の飼料として活用
牛用等の配合飼料を販売

その他の事業



てん菜や製品の輸送
石炭・石油類の販売

不動産事業



旧製糖所跡地等を有効活用

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

事業紹介②

砂糖事業 【ビート糖】【精糖】

・ビート糖では、業務用・家庭用合わせて日本で消費される砂糖の10％強を供給。
・輸入粗糖から砂糖を製造する精糖事業も行う。

食品事業 【イースト】【オリゴ糖等食品素材】

・パン酵母（イースト）等を製造販売。ドライイーストを国内で製造しているのは当社だけ！
・てん菜由来のオリゴ糖やベタイン（アミノ酸の一種）を製造販売。

飼料事業 【配合飼料】【ビートパルプ】

・乳牛用等の配合飼料を販売（イーストやオリゴ糖を配合した商品）。

農業資材事業 【紙筒（育苗用資材）】【農業用機械器具】

・当社が開発した紙製の農業用資材（紙筒～ペーパーポット®、チェーンポット®）は、てん菜のほか、そ菜・花き・林木用も販売。日本のネギの約３割に使われています。

不動産事業 【旧製糖所跡地等を活用した不動産賃貸】

・北海道帯広市で複合商業施設を賃貸し、地域の皆様の暮らしに貢献。

各事業詳細
P39～P43を
参照ください

その他の事業 【貨物輸送】【石油類販売】

・子会社：十勝鉄道(株)で、原料となるてん菜や製品であるビート糖・配合飼料を輸送。
・子会社：スズラン企業(株)で、石油製品販売事業等を行う。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

当社の強み・特長

【日本の食料自給率に貢献】

・北海道ビート糖のトップメーカー
「スズラン印」の砂糖は家庭用小袋では北海道、中国地方が中心ですが、
業務用は全国に展開。

・砂糖類の食料自給率は33％（ｶﾛﾘｰﾍﾞｰｽ、令和７年度）。
米（96％）・野菜（73％）・魚介類（46％）に次ぐ自給率で、
日本の食料自給率（37％）の維持向上に貢献しております。

※食料自給率は農林水産省「令和７年度食料自給率について」より

【幅広い試験研究】

・自社研究施設での開発による特許や技術を多く保有しています。
(研究開発費 総額 533百万円 (2026年３月期実績))

主な研究内容
- 耐病性品種の育成、栽培技術、製糖技術（高度な生産技術）
- オリゴ糖やアミノ酸等の食品や原料素材
- 牛等の家畜の生産性向上、健康改善に有用な配合飼料
- 農作業の省力化や環境保護に寄与する農業資機材や栽培技術

【人と環境にやさしいものづくり】

・誰もが喜ぶものづくり/環境負荷を減らすものづくりを目指し、人の健康増進に寄与する製品や環境負荷低減製品の製造開発に取り組んでいます。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

パーパス×アグリーン戦略①

当社パーパス

畑から、食卓へ。
てん菜から広がる可能性を見いだし、
人と環境にやさしいものづくりで、
北海道、そして日本の未来に貢献します。

日本甜菜製糖

日甜アグリーン戦略

※「アグリーン」とは「アグリカルチャー」と「グリーン」を掛け合わせた造語です。

NITTEN AGREEN STRATEGY

これまで培ってきた製糖副産物を利用する技術、バイオ技術、独自の紙筒技術、等を基盤に、「食品、畜産、紙筒、てん菜」の４つの分野で、新製品や新技術の開発に取り組んでいます。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

パーパス×アグリーン戦略②



- てん菜はCO_2吸収能力が非常に高い作物。
- 砂糖の原料とならない茎葉部は、畑にすき込み緑肥として再利用。
- てん菜の搾りかす（ビートパルプ）は、原料として飼料に活用。

- **当社では、新たにビートパルプを乾燥させず圧縮しながらロール状にした製品「生パルプロールS」を開発、本年より本格販売を開始します。**
  （乾燥工程廃止によりCO_2排出量が削減でき、牛の嗜好性もよい製品となっております。）



圧縮前のビートパルプ



ロール状にした製品
「生パルプロールＳ」

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

パーパス×アグリーン戦略③



（ペーパーポット®）





（ひっぱりくん® ）

- **ペーパーポット®は当社が開発した育苗用資材で、特殊な紙で作られており、ポットは土中の微生物により分解が促進されるため、そのまま植えることが可能。**
  移植機材と組み合わせることで作業時間と労力が節約できます。
- **60 年以上、ペーパーポット®でてん菜産業を支えていますが、今日ではそ菜・花き・林木用など他作物にも用途を拡大。国内だけでなく海外にも販路を広めています。**
- **また、育苗期間中は高い耐久性を維持し、移植前にアルカリ処理を行うことで、移植後は土壌中で分解が促進される世界初のスイッチ型分解挙動を持つ「クエン酸架橋原紙製チェーンポット」を開発。**
  従来分解防止のために使用されていた薬品を天然物材料（クエン酸）へ変更することにより、有機農業への対応も目指しています。

※チェーンポット®‥数珠つなぎ状にはがれるペーパーポット



分解を促進

従来ポット(左)と新型ポット(右)のコマツナ収穫時の写真
（※試作ポットでの評価）

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

パーパス×アグリーン戦略④



ラフィノース100
（ラフィノースを食べやすい顆粒状にした商品）



北海道ビートオリゴ
（ラフィノースを含むシロップ）



北海道どさんこオリゴ
（フラクトオリゴ糖を含むシロップ）

・オリゴ糖製品など健康素材の拡販に取り組んでいます。

ラフィノース（オリゴ糖の一種）

てん菜に僅かに含まれる天然のオリゴ糖。
健康志向の食品素材として幅広くご使用いただけます。
ラフィノースは胃や小腸で消化吸収されにくく、善玉菌であるビフィズス菌が棲む大腸に届きます。

フラクトオリゴ糖（オリゴ糖の一種）

ビート糖蜜を原料とし、北海道十勝で製造。
糖蜜由来の香ばしい風味とすっきりとした甘さが特長です。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

関係団体の情報発信・砂糖消費拡大活動

ありが糖運動
（農林水産省）

たいせつな人に
「ありが糖」

© 2019 農林水産省

シュガーチャージ
（シュガーチャージ推進協議会）

SUGAR CHARGE!
カラダ・アタマ・ココロにお砂糖のチカラ
シュガーチャージ

天下糖一プロジェクト
（JA北海道中央会）

砂糖に甘くない時代だから。
天下糖一
プロジェクト

北海道ビート糖フェア・食育授業
（日本ビート糖業協会）

HOKKAIDO BEET SUGAR FAIR
Beet Sweet
北海道ビート糖フェア

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

2 第２次中期経営計画

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

当社のありたい姿

「てん菜糖業」から「てん菜産業」への飛躍

てん菜糖業

健康社会の実現

砂糖

パルプ

海外への展開

飼料

紙筒（育苗用資材）

てん菜産業

未来への挑戦





オリゴ糖製品



マイコプロテイン



カギケノリ



ナノセルロース



油脂

日甜アグリーン戦略

NITTEN AGREEN STRATEGY

https://www.nitten.co.jp/company/agreen-strategy/

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

第２次中期経営計画の全体概要

第２次中期経営計画
基本方針
持続可能なてん菜産業の創造にチャレンジし、安全・安心で幸せな社会の実現に貢献していく

事業戦略

▶ **成長事業の拡大加速**

1. **飼料事業**
   - ✓ 独自素材DFAⅢの海外展開
   - ✓ ビートパルプの多用途展開
2. **農業資材事業**
   - ✓ 有機農業用資材の新商品開発・海外展開
   - ✓ てん菜由来の有用物質を活用した商品の拡販
3. **食品事業**
   - ✓ BtoC市場での販売強化
   - ✓ 国産ドライイーストの市場開拓
   - ✓ 新たな機能を有する製品の開発

▶ **基盤事業の収益構造改善**

4. **砂糖事業**
   - ✓ 省エネ・省人・省力化、販売強化
5. **不動産事業**
   - ✓ 安定的な収益確保

資本・財務戦略

1. 政策保有株式の縮減
2. キャッシュアロケーションの策定
3. 株主還元の拡充
4. 適切なバランスシートコントロール

非財務戦略

1. 持続可能な農業への貢献
2. 気候変動への対応
3. 資源の有効活用
4. 食の安全・安心
5. 働きやすい環境の実現
6. 地域社会への貢献

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

第２次中期経営計画の目標値

・**2026年５月、株主還元を更に強化するため、還元方針を変更**

第２次中期経営計画目標

	2026年３月期実績	2028年３月期目標 （2025年５月見直し後）	2028年３月期目標 （2026年５月公表）
営業利益	52百万円	**3,000百万円**	**変更なし**
ROE	6.7%	**５%以上**	**変更なし**
株主還元 （１株あたり配当金）	160円	**80円以上**	**DOE4.0% を目安**

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

事業戦略①

【スズラン印リニューアル】

1962年より使用してきた食品ブランドロゴマークを2025年10月20日より変更







北海道で放映しましたテレビCMを
YouTubeでも公開しておりますので、ご覧ください。

「変わるんです」篇 https://youtu.be/eaXSTPXaZOw
「ぼくらの原料」篇 https://youtu.be/KV_vk36s_6Y

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

事業戦略②

【商　号　変　更】

- 当社は、製糖事業で培った独自の知見や技術を活かし、食品、飼料、農業資材など幅広く事業を展開。
- 第２次中期経営計画で掲げる「てん菜糖業」から「てん菜産業」への飛躍を示すものとして、2026年10月１日付で商号変更を決定。
- 併せて、新コーポレートロゴマーク、タグラインを制定。

日本甜菜製糖株式会社

Nippon Beet Sugar Manufacturing Co., Ltd.

株式会社ニッテン

Nitten Co., Ltd.

タグライン

てん菜の　みのりを　みらいに

新コーポレートロゴマーク

Nitten

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

事業戦略③～海外展開

ＤＦＡⅢ（オリゴ糖の一種）



イムノアクセル®
仔牛の免疫力増強サプリメント

- 当社独自素材のＤＦＡⅢは、分娩後の牛が発症しやすい低Ca血症という病気の予防効果や、出生直後の動物への免疫抗体の吸収促進作用が期待できます。
- 牛だけでなく豚や馬 等への給与効果も検証し、海外に向けた展開を取り進めています。

⇒ターゲット：韓国、タイ、オーストラリアなど

紙筒



「チェーンポット®」専用の
移植機「ひっぱりくん®」

- 海外の有機農業用資材需要の高まりに対応するため、有機対応の紙筒商品の開発を進めております。

⇒ターゲット：アメリカ、ヨーロッパなど

フラクトオリゴ糖（オリゴ糖の一種）



北海道どさんこオリゴ
フラクトオリゴ糖を含むシロップ

- 台湾国際食品展2026に出展、海外でのPRに取り組んでおります。

⇒ターゲット：台湾など

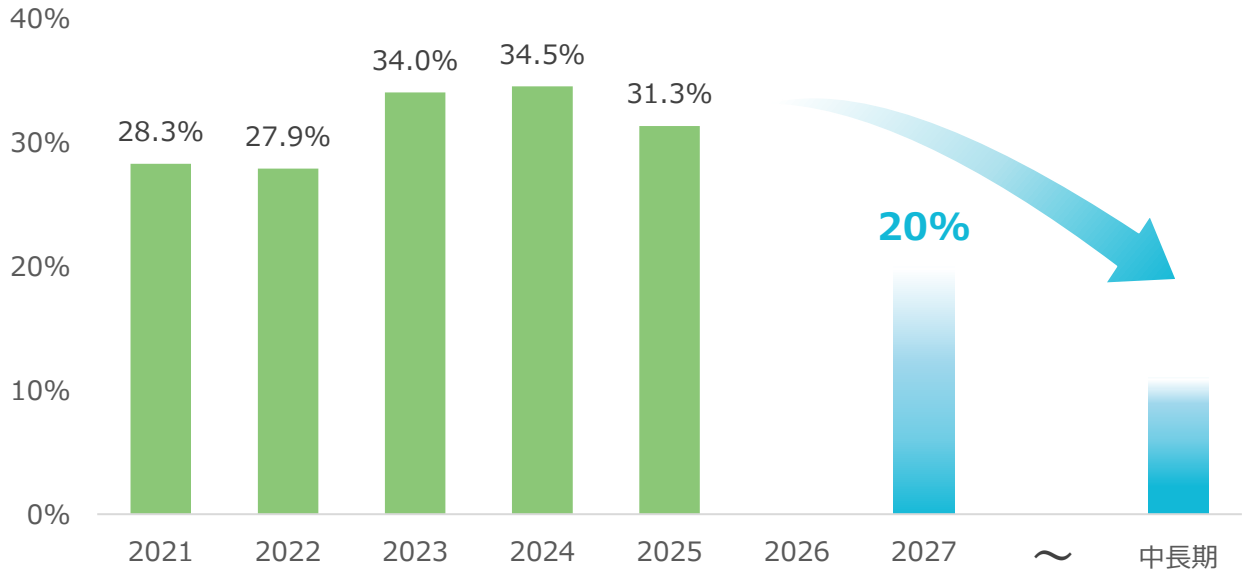
Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

資本・財務戦略～政策保有株式の縮減

- 2027年度末までに、政策保有株式を対純資産比率20%まで縮減する目標を設定。
- 2025年度は 6 銘柄、8,070百万円の保有株式を売却。
- 今年度（2026年度）も 6 銘柄、売却益5,400百万円（見込み）の売却を予定。
  継続して、縮減を進めていく方針。

政策保有株式の縮減目標	**政策保有株式の対純資産比率を2027年度までに20%まで縮減する 中長期的には更なる縮減を目指していく方針**

政策保有株式の対純資産比率推移



2025年度実績

売却銘柄数

6 銘柄

売却によるキャッシュインフロー

8,070 百万円

売却による特別利益計上額

6,978 百万円

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

非財務戦略

【健康経営優良法人2026（大規模法人部門）認定】

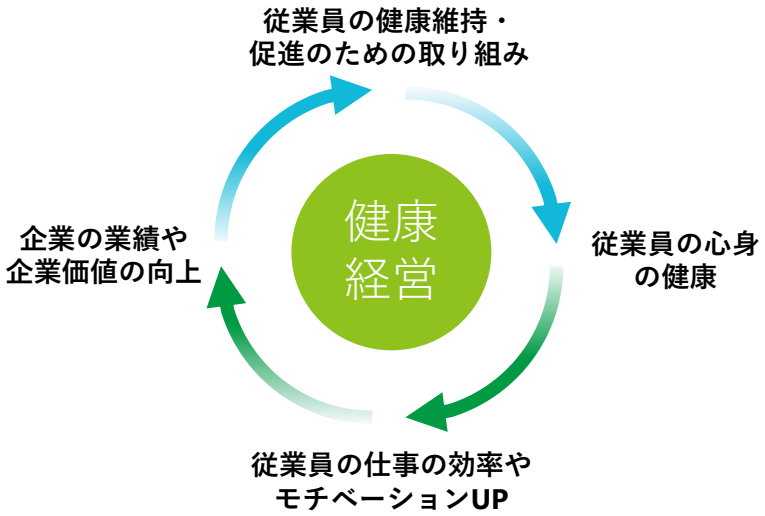
- 経済産業省と日本健康会議が運営する健康経営優良法人認定制度において、優良法人に認定されました。

健康経営宣言

・当社は、多くの「人」との信頼関係を大切に、地域社会への貢献と企業の持続的な発展を目指します。

・企業としての存在意義を発揮するためには、原動力となる従業員の健康が不可欠であると捉え、従業員一人ひとりが心身ともに健康で、いきいきと働ける環境づくりを推進してまいります。

2026 健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門



Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

将来の企業価値向上を目指した取り組み

取組１　マイコプロテイン生産

砂糖の製造過程で発生する副産物を利用し、動物性タンパク質の代替とする研究

［取組内容］　✓ ノルウェーのオスロに本社を置く発酵科学のリーディングカンパニー「Norwegian Mycelium AS (NoMy)」に2025年4月30日出資。同社と連携し研究を実施。

［期待効果］　✓ てん菜から新たな食品用途を開発・・・マイコプロテイン生産。
→ 植物から新たなタンパク源を製造し、将来予想される世界的タンパク質不足へ対応。

取組２　カギケノリ飼料の開発

メタン抑制技術の開発

［取組内容］　✓ カギケノリ等藻類のメタン抑制効果を検証。

［期待効果］　✓ 陸上養殖試験を開始して商品化を目指す。

取組３　ナノセルロース事業化

ビート糖蜜を新プラスチック素材（ナノセルロース等）とする研究

［取組内容］　✓ 北海道大学と共同で酢酸菌の生産するナノセルロースの効率的生産と物性に関する研究を実施中。

［期待効果］　✓ てん菜の食品以外の新たな用途開発・・・ 植物由来の新素材ナノセルロース。
→ 植物由来プラスチックの普及による資源循環社会の実現。

取組４　油脂生産

酵母の培養技術を応用、「微細藻類の従属栄養による高密度大量培養技術」確立を目指した研究

［取組内容］　✓ 従来のSAF研究で得た藻類培養の知見に基づき、新機能を有する油脂等の研究を継続。

［期待効果］　✓ てん菜から新たな食品用途を開発・・・微細藻類の培養。
→ 人々の健康増進。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

3 業績、株主還元など

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

株主還元方針・株式分割

- 資本収益性を意識したバランスシートマネジメントを踏まえ、株主還元を更に強化。
- 機動的な自己株式取得は継続して実施していく方針。
- 2026年10月１日を効力発生日とする１：３の株式分割を実施。

株主還元方針

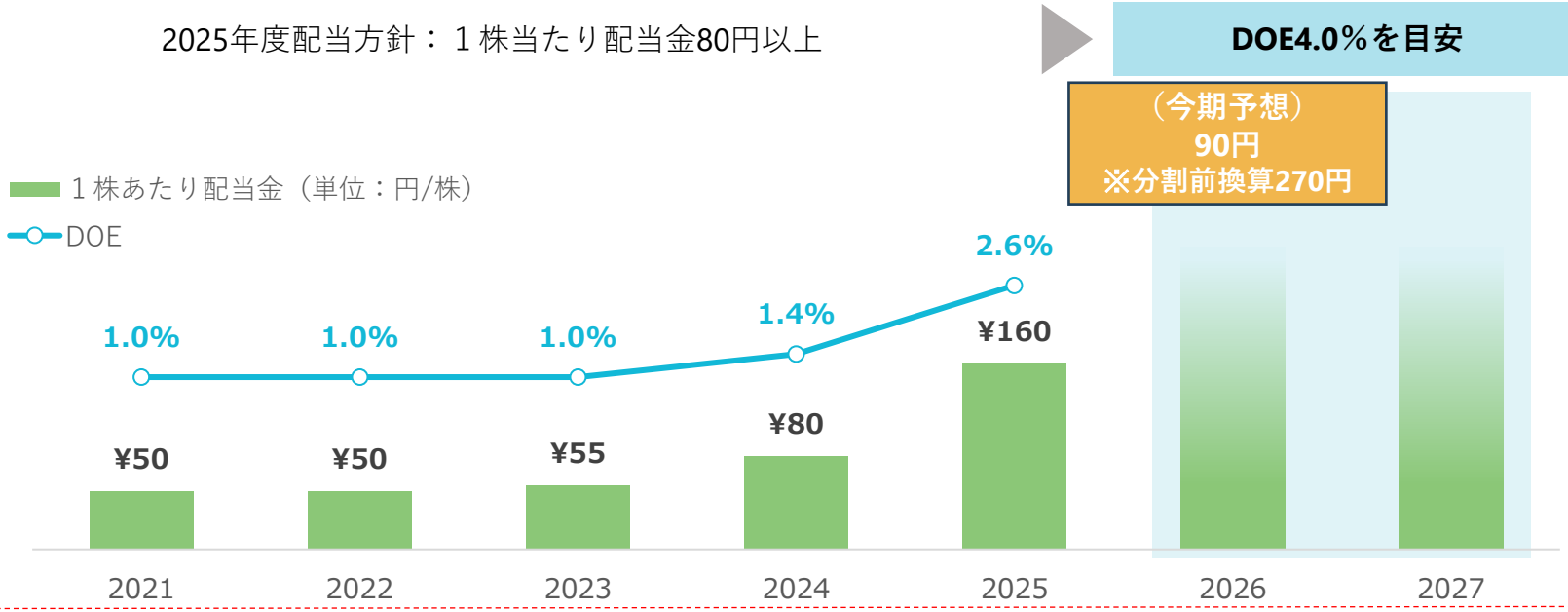
資本効率の改善に向けた自己資本コントロールを目的とし、株主還元を強化
DOE4.0%を目安

配当実績

2025年度配当方針：１株当たり配当金80円以上

配当方針

DOE4.0%を目安



＜参考＞自己株式購入実績

	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度（８月末現在の実績）
取得価額（百万円）	902	235	999	999	999	2,476

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

キャッシュアロケーション

- 政策保有株式売却代金の上振れを踏まえ、キャッシュアロケーションを再設計。
- 効果的な投資を継続し、増加したキャッシュインは株主還元に配分。

2025年５月公表
キャッシュアロケーション
（2025~2027年度累計）



計 約200億円

2026年５月見直し
キャッシュアロケーション再設計
（2025~2027年度累計）



計 約240億円

■ 非連続成長
進捗： NoMy約２億円出資、新事業への研究開発投資
今後の方針： M&Aおよびアライアンス推進、研究開発

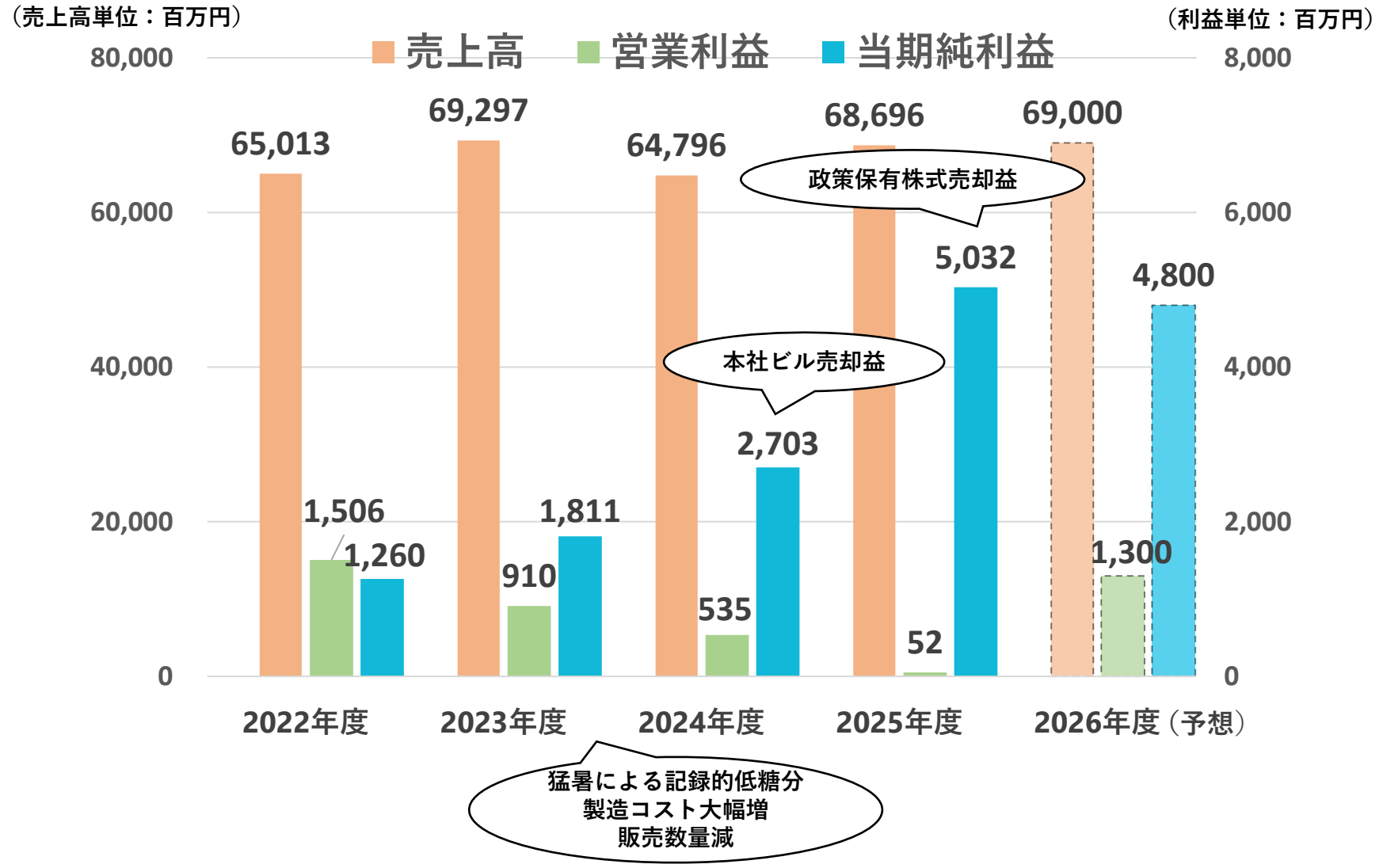
■ 成長投資
進捗：15億円
今後の方針：海外事業拡大、新製品開発、合理化

■ 株主還元
政策保有株式売却により増加したキャッシュインを株主還元へ充当。**株主還元方針を1株当たり80円以上からDOE4.0%を目安に変更**

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

業績推移（連結）

2023年度にてん菜が記録的不作となるも、収益力・資本効率の改善に取り組む



© 日本甜菜製糖株式会社 2026

株価の推移

- 東京証券取引所　プライム市場
- 証券コード　2108
- 新聞の経済面等では銘柄名が「甜菜糖」と記載されています。
  ※商号変更により10月１日より「ニッテン」となります。

2026年8月31日
終値5,430円

配当利回り 4.97%

株価チャート 2024年８月～2026年８月



© 日本甜菜製糖株式会社 2026

株主優待制度（※株式分割後の内容で記載しております。）

- 毎年３月末現在（基準日）の株主名簿に記載または記録された300株以上保有の株主さまへ、自社製品をお届けしております。

保有株式数	贈呈品
300～1,499株	自社製品　1,000円相当
1,500～2,999株	自社製品　1,500円相当
3,000株以上	自社製品　2,500円相当

＜長期保有株主さまへの優待制度【新設】＞

・2026年３月末基準より新設。
300株以上保有を５年以上ご継続頂いている株主さまへ
通常の優待品とは別に自社製品をお送りいたします。

保有株式数	保有期間	贈呈品
300株以上	継続保有期間 ５年以上	自社製品　3,000円相当

（ご参考）2026年７月の優待品例



グラニュ糖



上白糖



北海道どさんこオリゴ



ポケットシュガー

※詳細につきましては、2026年８月21日付「株式分割、株式分割に伴う定款の一部変更、配当予想の修正、譲渡制限付株式報酬制度における付与株式総数（年間）の調整及び株主優待制度の変更に関するお知らせ」をご参照下さい。
https://www.nitten.co.jp/dcms_media/other/news_20260821_1.pdf

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

製糖所見学会

- ２年前に開催した個人投資家様向け説明会においてご要望をいただき、昨年初めて製糖所見学会を実施いたしました。
- 大変ご好評をいただき、今年も当社最大の工場である芽室製糖所（北海道十勝）やてん菜畑をご覧いただく見学会を実施いたします。

（2026年10月実施予定：今年度の応募は終了しております。）

※当社株式を一定数保有の株主さまが対象。
応募者多数の場合は抽選。

今後も当社事業へのご理解を一層深めていただける企画を検討してまいります！



（芽室製糖所）



（てん菜畑）

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

4 参考資料

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

会社概要

社名	にっぽんてんさいせいとうかぶしきかいしゃ 日本甜菜製糖株式会社 ※２０２６年１０月１日　商号変更 →　株式会社ニッテン
社名英訳	Nippon Beet Sugar Manufacturing Co., Ltd. →　Nitten Co., Ltd.
本社所在地	〒104-0031 東京都中央区京橋二丁目６番４号
代表者	取締役社長　石栗　秀
資本金	８２億７千９百万円
創立	１９１９年（大正８年）６月１１日　　創業１０７年
従業員数	７７１名（連結）
株式	東京証券取引所 プライム市場 （証券コード ２１０８）
事業内容	砂糖事業・食品事業・飼料事業・農業資材事業・不動産事業・その他の事業
子会社	十勝鉄道(株)・スズラン企業(株)・ニッテン商事(株)・サークル機工(株) 士別スズランファーム（株）
関連会社	とかち飼料（株）

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

主な事業拠点

【北海道を拠点に全国に展開】





芽室製糖所



美幌製糖所



士別製糖所

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

砂糖事業

●事業概要

当社は寒冷な地域での栽培に適した**てん菜（ビート）**を北海道（十勝、オホーツク、道央）の農家の方に栽培していただき、収穫されたてん菜から砂糖を、北海道にある**芽室・美幌・士別の三製糖所**で製造しています。

当社は**ビート糖**製造販売で４割程度のシェアの他、粗糖を原料とした**精糖**の製造販売も行い、北海道、西日本では**スズラン印の砂糖**として愛用されています。

業務用の砂糖は大手菓子、飲料メーカー等に販売、ご好評をいただいており、**国産で高品質の砂糖を安定的に供給できるのが当社の強み**です。

当社は、ビート糖、精糖を合わせ日本で消費される砂糖の10%強を供給しています。

ビート糖





家庭用 グラニュ糖と上白糖（小袋１kg）北海道産であり、大変好評をいただいております。

精糖





家庭用 三温糖　白ザラ糖（小袋１kg）その他、グラニュ糖、上白糖、中双糖も取り揃えております。

北海道まろやかてんさい糖



北海道オホーツク産てん菜のみを使用した含蜜糖。
第78回ジャパン・フード・セレクション(2024年８月)において、最高評価である「グランプリ」を受賞しました。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

食品事業

●事業概要

当社では砂糖のほか、副産物であるビート糖蜜を活用し、パン酵母（イースト）やオリゴ糖などを製造販売、当社の主業である「砂糖」と合わせて、様々な食品素材を供給することで、食生活に彩りを添えています。

イーストは各種業務用のほか、家庭用のドライイーストも取り扱っています。
（**国内でドライイーストを製造しているのは当社だけ**です）

てん菜に僅かに含まれる天然のオリゴ糖である**ラフィノース**やビート糖蜜を原料とする**フラクトオリゴ糖**を含む製品等の製造販売を行っています。

てん菜に含まれる有用成分であり、食品添加物（調味料）や化粧品素材に使用されている**ベタイン**（アミノ酸の一種）の製造販売も行っています。



とかち野酵母
（家庭用ドライイースト。
北海道で採取された野生酵母。
インスタントタイプと予備発酵
タイプがあります。）



旨パン職人
（バゲットや食パンなど無糖・
低糖生地のパンづくりに適した
国産ドライイースト。
予備発酵不要のインスタントタイプ。）



ラフィノース100
（てん菜から抽出した粉末状のオリゴ糖。
甘さ控えめで、離乳期※のお子さまからご
高齢の方までお召し上がりいただけます。）
※使用量や体調に配慮してお使いください。

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

飼料事業

●事業概要

「**乳牛と肉牛の健康パートナー**」として、酪農経営の安定と発展のため当社研究所において**独自に研究開発**した飼料を販売しています。ニッテン配合飼料の理念は、乳牛の潜在的能力を科学で引き出し、健康に生産を続けられる飼料をお届けすることにあります。

当社の配合飼料はてん菜の繊維質であるビートパルプを主な原材料とするもののほか、イーストやオリゴ糖などの素材を配合した飼料を取り揃えています。



イムノアクセル®ジェル
イムノアクセル®（初乳中の免疫グロブリンの吸収を促進するオリゴ糖を原料とした初乳用添加剤）をジェル状にしたサプリメント。
従来の粉末タイプでは給与が難しかった親付仔牛にも効率的に給与が可能。
＜対象家畜：仔牛＞



ビートフラクト
2025年12月に新発売した、ビート糖蜜を原料とした飼料向けフラクトオリゴ糖。
＜対象家畜：子牛、子豚、親豚＞

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

農業資材事業

●事業概要

育苗用の移植用資材である「**ペーパーポット®**」とそれに関わる資機材を製造販売しています。ペーパーポット®は 60 年以上、北海道のてん菜産業を支えてきた当社が開発した技術で、現在も多様な作物に使用されている紙素材製品です。

商品ブランドの一つである「チェーンポット®」シリーズは、数珠状に連結したポットが特長で、簡易移植器「ひっぱりくん®」と組み合わせる事で短時間で簡単に移植することができます。

てん菜用はもちろん、そ菜・花き・林木用があり、ネギ、レタス、キャベツ等の葉菜類の栽培等、**国内だけでなく海外にも販路を広めています。**

ペーパーポット®の育苗用や移植用の**農業用機械器具等も取り扱っており、**子会社の**サークル機工(株)**では農業用機械・器具の製造販売を行っています。



日本のてん菜の約５割、ネギの約３割に使われています。



SNSでの情報発信にも力を入れており、Instagramでは1.8万人のフォロワーを獲得するなど国内・外の方々に多くご視聴いただいております。

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

不動産事業

●事業概要

旧製糖所跡地等を活用した不動産賃貸を行っています。
北海道帯広市で複合商業施設を賃貸し、地域の皆様の暮らしに貢献しております。



北海道帯広市　複合商業施設

その他の事業

●事業概要

子会社 **十勝鉄道(株)**は、主にてん菜やビート糖・配合飼料の輸送を行っています。

子会社 **スズラン企業(株)**は、石油製品販売事業(石油製品販売・ガソリンスタンド経営)、スポーツ・レジャー事業(ボウリング場経営)、保険事業(生命・損害保険代理店)を行っています。



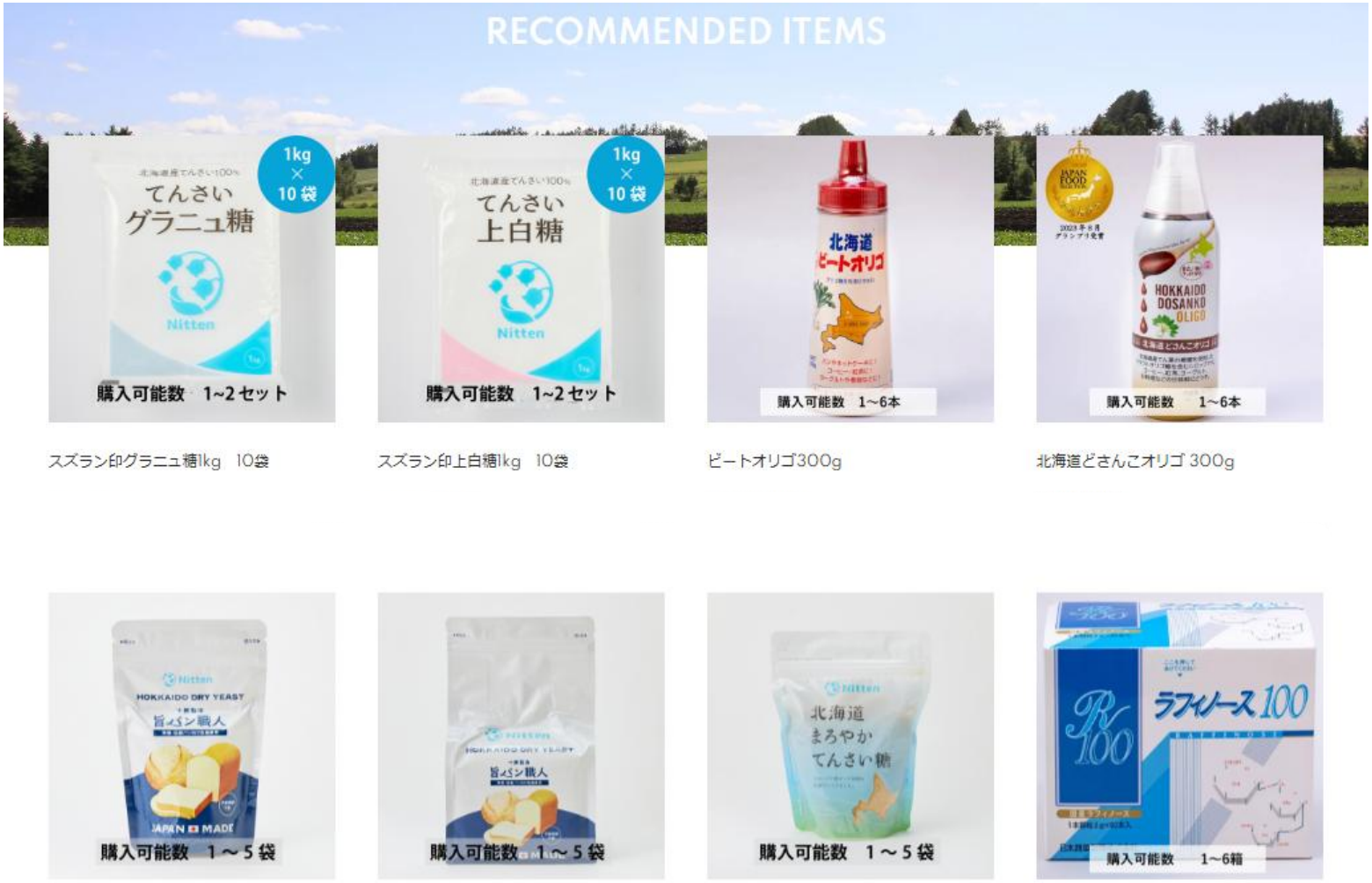
十勝鉄道(株)　運送車両

Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

オンラインショップ

・当社グループ商品はオンラインショップでもお買い求めいただけます。

https://nitten-ec.shop-pro.jp/



© 日本甜菜製糖株式会社 2026

5 本日のまとめ

© 日本甜菜製糖株式会社 2026

本日のまとめ

・日本甜菜製糖は「てん菜」から安全安心、
高品質な国産糖を製造。

・砂糖事業を基盤に、てん菜産業への飛躍を図り、
北海道から日本の食生活・農業・酪農に貢献しています。

・東証プライム市場上場
証券コード：2108「甜菜糖（10月１日よりニッテン）」



Ⓒ 日本甜菜製糖株式会社 2026

ご清聴ありがとうございました。

詳細な情報は、当社ホームページをご参照下さい。
https://www.nitten.co.jp

本資料は、作成時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして実際の業績等はこれらと異なる可能性があります。万一この情報に基づいて被ったいかなる損害につきましても当社は一切責任を負わないことをご承知おきください。
本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。

日本甜菜製糖株式会社